



本社



株式会社永田プロダクツ
代表取締役社長
永田 則男さん

「ものづくり探訪」をリニューアル！
市内企業の優れた技術力や製品、
サービスを紹介します。



自動車という資源をとことん生かす

当社は、不要となった自動車を適正処理する自動車リサイクルを中心とした事業を行っています。昨年11月に新社屋が完成し、本社を東町から高砂に移転しました。

リサイクルの流れですが、まず車体に残った燃料を抜き取り、フロントガス、エアバッグを処理します。次にタイヤ、オーディオ、バッテリー、ドアといった各部品を取り外し分別した後、さらに自動車解体機で鉄、アルミ類、銅線などを取り出します。最後に残った車体をプレスし、専門の処理業者を通じリサイクルします。再利用可能な部品は、洗浄・検査後に中古部品データベースに登録し、全国各地に配送します。海外でも需要の高いエンジンなどは、タイヤやマレーシア、アラブ首長国連邦などへ向け酒田港から輸出しています。

全国に広がるリボーン・カーリース

3年前から、程度の良い車輪をリサイクル部品で修理することにより再生(リボーン)し、リースをする事業も始めました。1か月単位で契約できることから利用者が増え、現在約150台をリースしています。事業に賛同する県外の同業者も増え、全国にネットワークが広がっています。

【企業の概要】

沿革 昭和42年(株)永田商店創業、昭和52年本社移転(東町)、平成10年株永田プロダクツに組織変更、平成12年山形パーツセンター設立(山形市)、平成14年北浜リサイクルセンター設立、平成24年11月新社屋竣工(高砂)

商号 株式会社永田プロダクツ

資本金 1,500万円

住所 酒田市高砂字官林続10-11

代表者 代表取締役社長 永田則男

従業員数 52人

事業内容 自動車リサイクル事業、貿易事業、リボーン・カーリース、各種保険事業



排ガスが出ない電動式自動車解体機で、さらに細かく分別します



持ち上げた車体の底部から部品を手作業で取り外しています

新刊紹介

図書館 24-2996

一般図書

きへん

池藤あかり／文 野呂希一／写真
青菁社



きへんの漢字を選び、写真で見る文字図鑑。字の成り立ちやその字にまつわる小話、関連する熟語を紹介。美しい日本の風景写真とともに、文字の源を訪ねます。

中高生向け

森をつくる

C.Wニコル／著
講談社



森は、人間が想像できないようなサイクルの中で生きています。森は未来です。何十年、何百年後に命をつなぐ未来なのです。世界の大自然を見てきたC・W・ニコルが、日本の自然の素晴らしさを伝えます。

児童絵本

アントンせんせい

西村敏雄／作
講談社



にこにこ、やさしい動物のお医者さん、アントン先生はいつも大忙し。病院には毎日いろいろな動物がやってくるからです。ところがある日、その先生が倒れてしまいます。びっくりした動物たちは…

◆図書館の本はインターネットでも検索できます。ホームページのアドレスは、<http://library.city.sakata.lg.jp/>